

2018年3月期

決算説明会 説明資料

2018年5月10日

株式会社 ドリームインキュベータ

(証券コード4310)

The logo consists of the letters 'DI' in a white, serif font, centered within a dark blue square background.

DI

2018年3月期決算要旨

各事業の状況

2018年3月期 決算要旨

決算概況		前年比	(参考) 保険調整ベース*
● 連結売上高	184億円	過去最高 (+ 26%)	同左
● 経常利益	19億円	過去最高 (+263%)	21億円
● 純利益	8.9億円	(+787%)	10.7億円

ポイント

- 戦略コンサルティング事業：売上高過去最高（4期連続）
- インキュベーション事業：投資加速
 - － 1社IPOによるゲイン獲得（営業投資）
 - － PE型投資先であるiPetが上場承認・4月IPO
- 特別損益、税金：
 - － システム開発見直しに伴う除却損（保険）
 - － 欠損金の期限切れに伴う繰延税金資産取り崩し（保険）

注：金額の表示単位未満は切り捨て
* 保険セグメント損益を調整（P.4・P.5参照）

2018年3月期 連結P/L

(単位：百万円)	2017年3月期 期末	2018年3月期 期末	増減率
戦略コンサルティング事業（セグメント）	3,202	3,275	2.3%
インキュベーション事業	11,324	15,172	34.0%
（営業投資セグメント	1,179	2,752	133.4%
保険セグメント	10,067	12,212	21.3%
その他セグメント	78	208	166.6%
セグメント間取引	-	▲ 29	-
売上高合計	14,526	18,418	26.8%
戦略コンサルティング事業（セグメント）	1,861	1,811	-2.7%
インキュベーション事業	▲ 232	908	-
（営業投資セグメント	▲ 344	632	-
保険セグメント	177	402	126.4%
その他セグメント	▲ 65	▲ 125	-
セグメント損益合計	1,629	2,720	67.0%
本社費*及び営業外損益	1,102	805	-26.9%
経常利益	527	1,915	263.2%
税金等調整前純利益	527	1,659	214.4%
親会社株主に帰属する純利益	101	899	787.4%

* 部門運営見直しに伴い、各セグメントへの配賦増

保険セグメント損益の調整項目及び調整額

iPetの損益実態を反映するために、以下の2項目を調整

(単位：百万円)

2017年3月期

2018年3月期

調整前保険セグメント損益

177

402

● 普通責任準備金に関する調整額*

+47

▲117

● 異常危険準備金繰入額**

+322

+391

調整額合計

+370

+273

調整後保険セグメント損益

547

676

* 普通責任準備金の算定を初年度収支残方式から未経過保険料方式へ変更した場合の調整額
** 繰入額の影響を排除（戻入れの場合はマイナス）

2018年3月期 連結P/L (保険セグメント調整ベース)

(単位：百万円)	2017年3月期 期末	2018年3月期 期末	増減率
戦略コンサルティング事業 (セグメント)	3,202	3,275	2.3%
インキュベーション事業	11,324	15,172	34.0%
営業投資セグメント	1,179	2,752	133.4%
保険セグメント	10,067	12,212	21.3%
その他セグメント	78	208	166.6%
セグメント間取引	-	▲ 29	-
売上高合計	14,526	18,418	26.8%
戦略コンサルティング事業 (セグメント)	1,861	1,811	-2.7%
インキュベーション事業	138	1,182	756.5%
営業投資セグメント	▲ 344	632	-
保険セグメント*	547	676	23.4%
その他セグメント	▲ 65	▲ 125	-
セグメント損益合計	1,999	2,994	49.7%
本社費及び営業外損益	1,102	805	-26.9%
経常利益	897	2,189	143.9%
税金等調整前純利益	898	1,933	115.3%
親会社株主に帰属する純利益	358	1,071	199.0%

注： 保険セグメントの調整による金額変更箇所は赤字で記載

2018年3月期 会社別経常損益前年対比

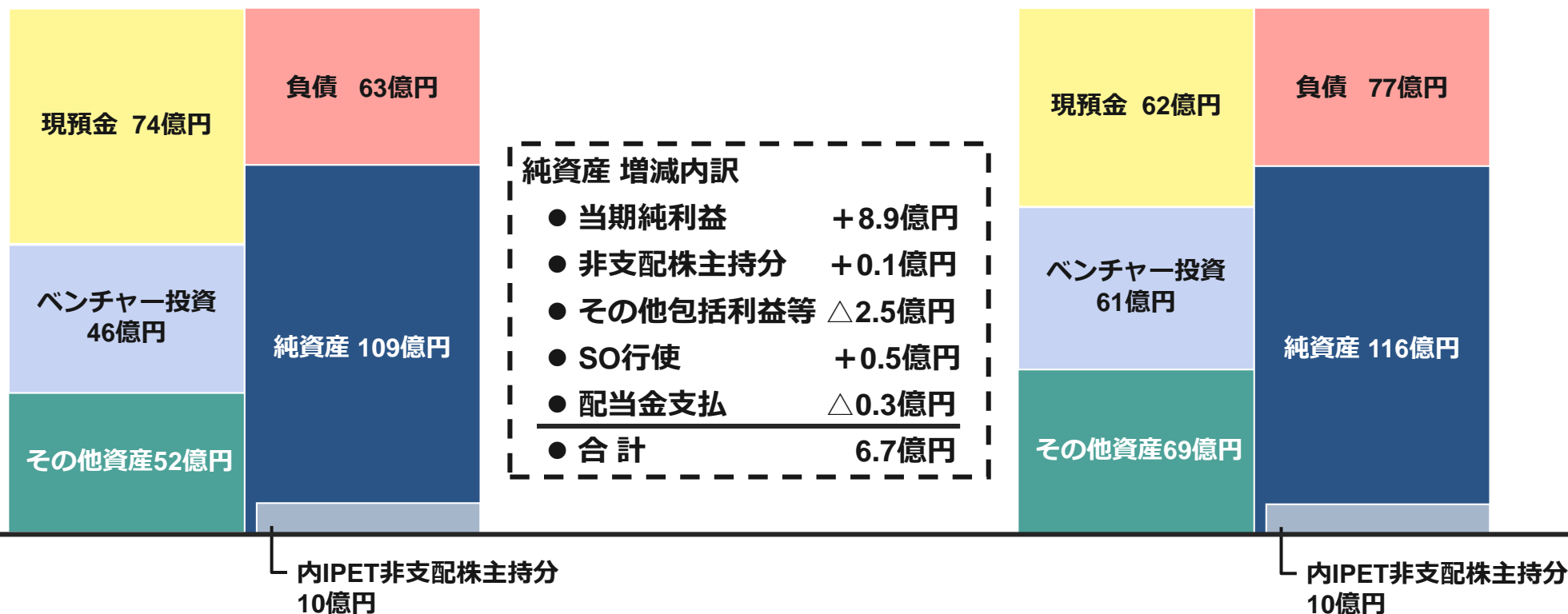
(損益額：億円)	2017年3月期	2018年3月期	増減理由
DI他*	4.3	16.0 +11.7	● キャピタルゲインの増加
iPet**	1.7	4.4 +2.7	● 堅調に成長 ● 資産運用による営業外利益0.3億円
DIM	▲0.8	▲1.3 ▲0.5	● 売上は引き続き増加傾向 ● 新規海外現地法人の設立等、先行投資コストも計上
合計	5.2	19.1 +13.9	

* 海外拠点含む
** 連結上ののれん償却を加味

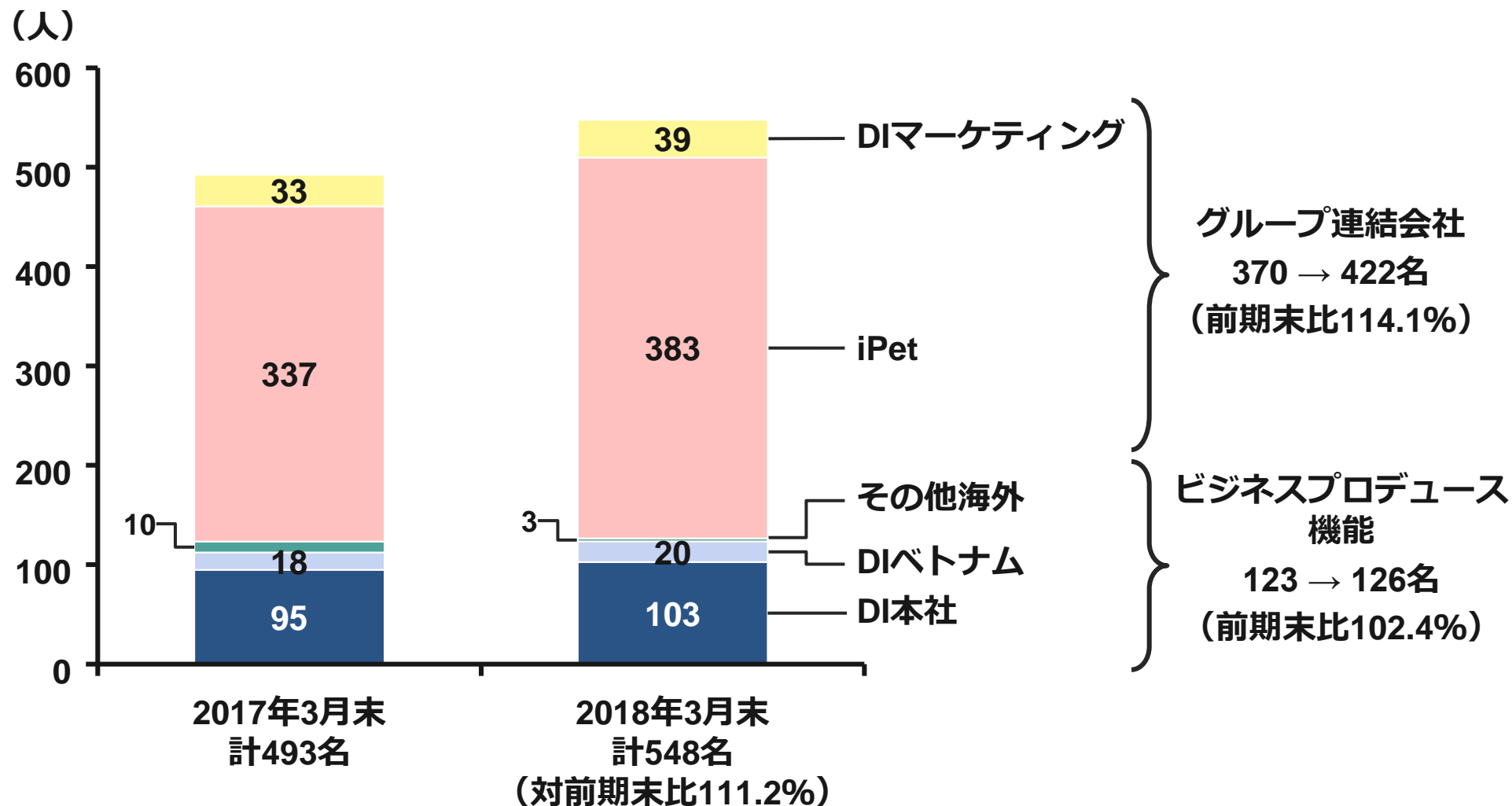
2018年3月期 連結B/S

2017年3月末
(総資産：173億円)

2018年3月末
(総資産：193億円)

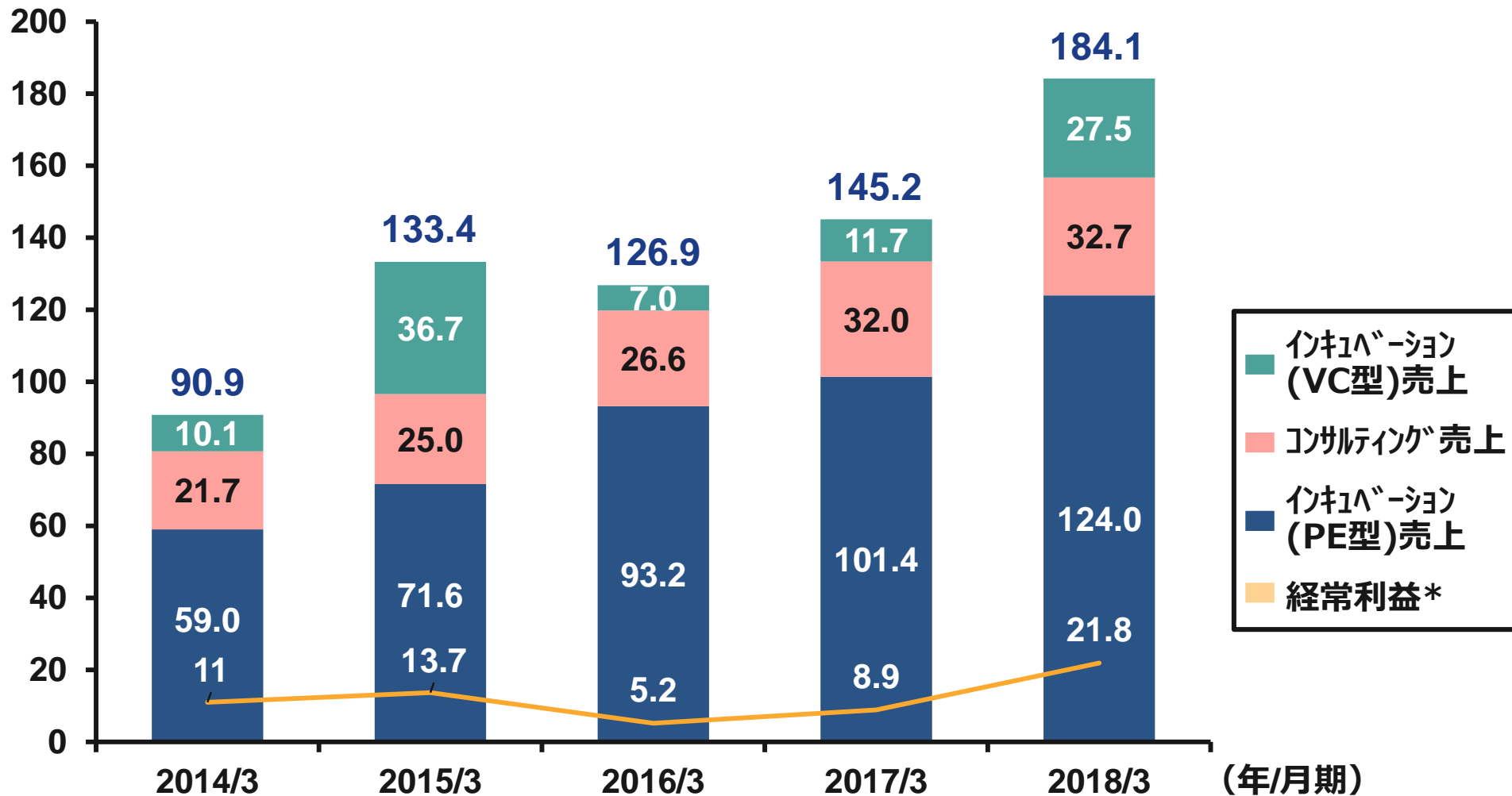


2018年3月期 連結従業員数



注： 各内訳人数は勤務地ベース（取締役を除く、臨時従業員を含む）、各月末日退職者を含む

売上高/経常利益
(億円)



IPO数

4

1

2

2

1

累計26

2018年3月期決算要旨

各事業の状況

事業構造

継続方針

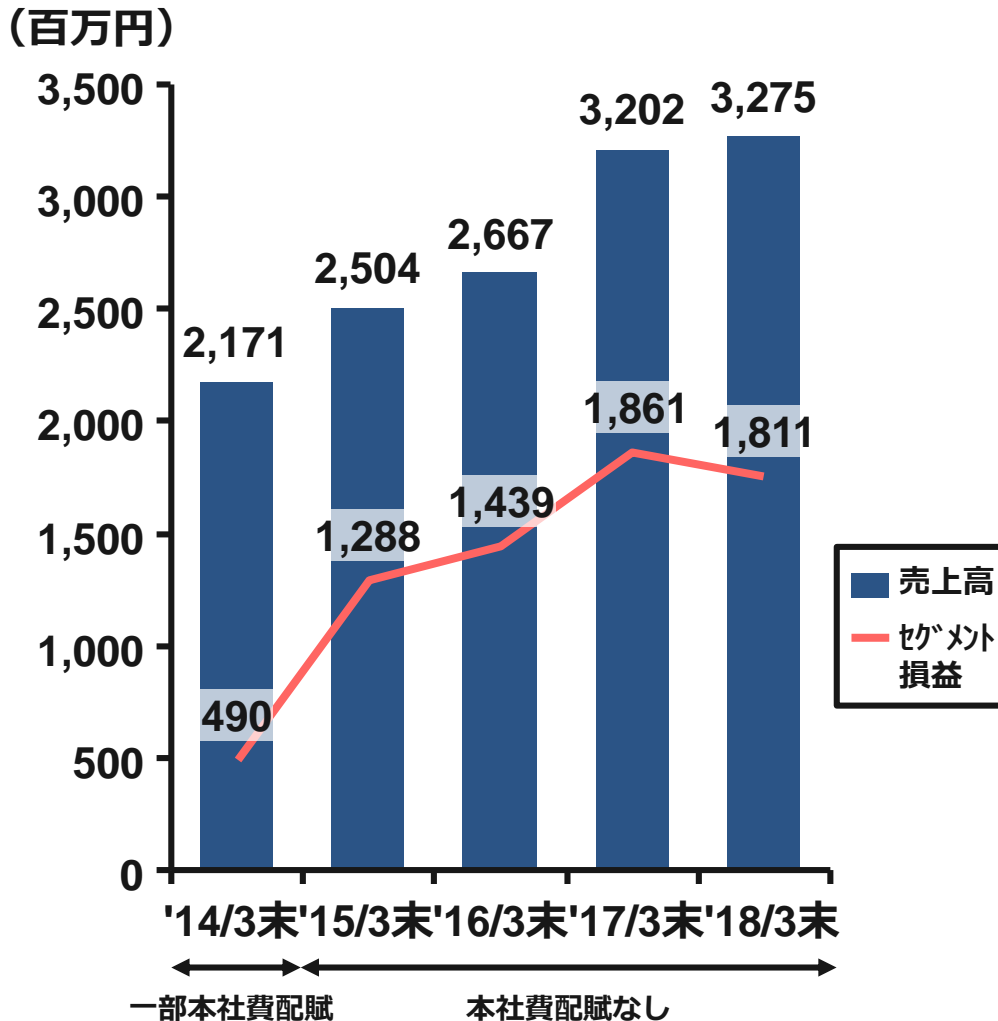
新規取組

	概要	前期状況	現状	今後の注力
インクubーション (VC型)	ベンチャー投資育成	投資残高約 <u>50億円</u>	同 <u>60億円</u> ● 直近5年Exit投資倍率2倍*	日/米/亜 三極投資加速 印ファント [®] 設立
戦略 コンサルティング	大企業コンサルティング ● 特に成長戦略/ 事業創造支援	売上 <u>32.0億円</u> ● 競合: McKinsey BCG	同 <u>32.7億円</u> ● インクubアリー増加	「ビジネスプロデュース」 能力/ブランド強化
インクubーション (PE型)	DIM**: リーシャルメディア マケ (東南アジア)	会員数 <u>70万人</u> ● 東南アジアトップクラス	同 <u>100万人突破</u>	アジアの 「知のプラットフォーム」
	Board Walk: 電子チケット	会員数 <u>450万人</u> ● 電子チケットサービスNo.1/ DI出資後3年連続成長中	同 <u>650万人</u>	会員DB活用
	iPet**: ペット保険	売上高 <u>100億円</u> ● 業界2位	同 <u>122億円</u> ● マザーズIPO	継続支援
				新規発掘

* 減損は売却損として加味
** 連結子会社

戦略コンサルティング事業（セグメント）

業績推移



取組状況

売上高は4期連続過去最高を更新

- 17/3期海外大型案件の反動減を国内案件増が上回る
- ブランディング強化によりインクワイアリ増加

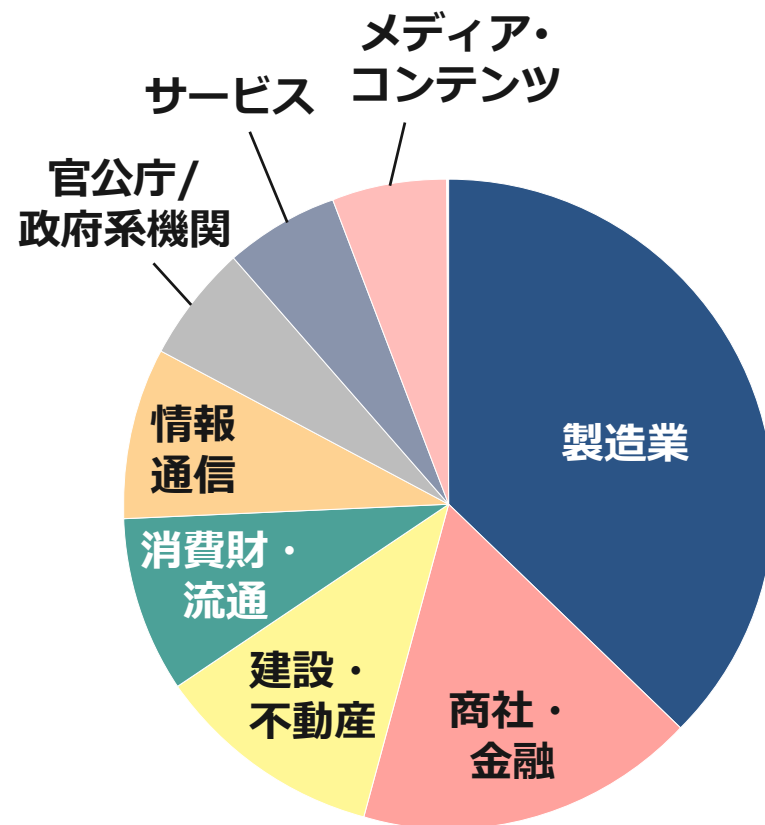
主なプロジェクトテーマ

- AI/ロボティクス戦略支援
- デジタルマーケティング戦略支援
- イノベーション組織設計支援
- 技術開発戦略策定
- M&Aアドバイザー
- 幹部人材育成

顧客の規模

経常利益	業界*順位（企業数**）			
	1位	2位	3位	4位以下
5,000億円以上	5			
1,000～5,000億円	3			
500～1,000億円	4			
100～500億円	4		2	7
100億円未満				2
合計	16		2	9
売上高構成比 (%)	78.1		5.5	16.4

顧客の業種

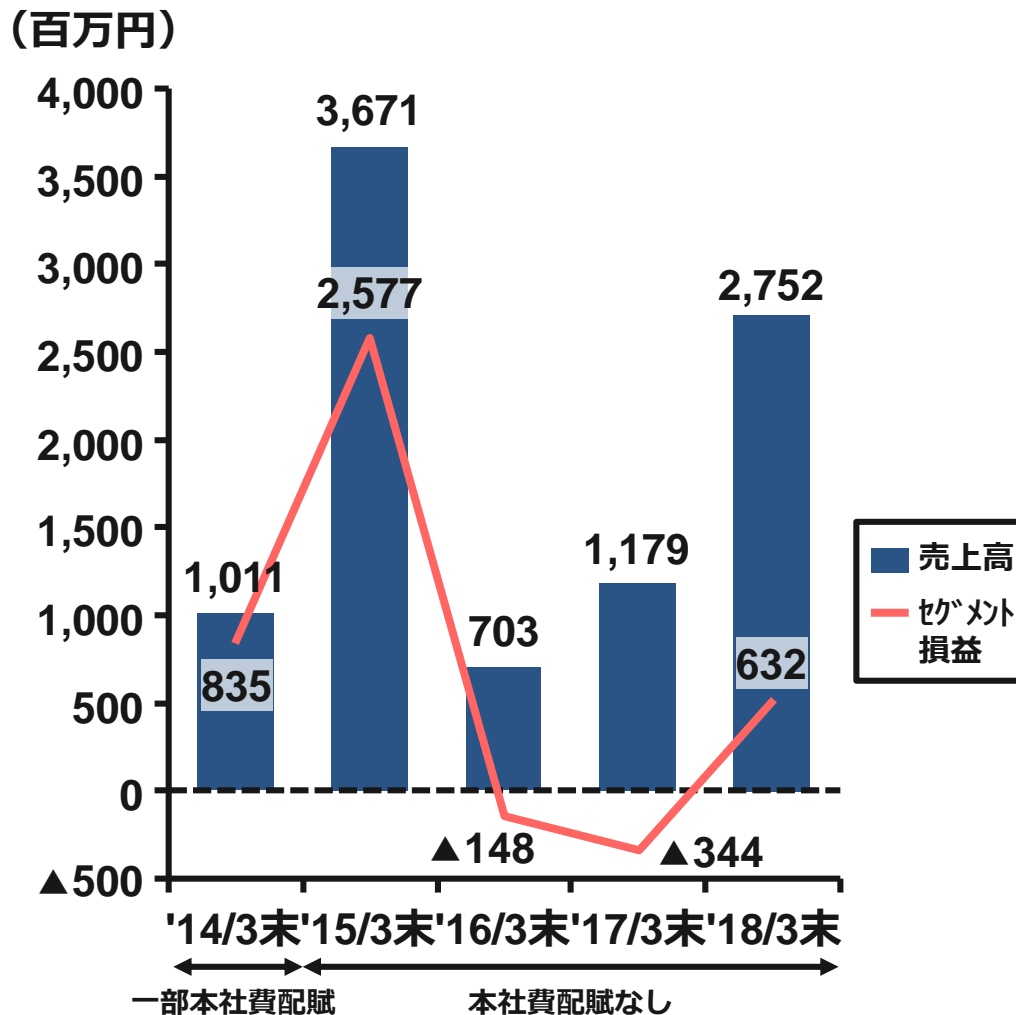


* (株)ユーザベース「SPEEDA」の業界小分類に基づき、顧客業界を分類

** FA事業、教育事業、海外事業の顧客企業を含む（但し、非営利団体、ベンチャー、金額の小さいPJ等を除く）

インキュベーション事業 (1) 営業投資セグメント

業績推移



取組状況

主要ベンチャーポートフォリオ (百万円)

● 日本*	1,905 (16社)
● アジア	1,867 (14社)
● 米国	576 (9社)
合計	4,349 (39社)

投資** 24社

- 新規17社、追加7社 (次ページ参照)

IPO / EXIT*** 1社

- エル・ティール・エス

減損 2社

* 簿価200万円以上のプリンシパル投資先のみ (金額は簿価、Post-IPO除く)

** SO取得含む (ファンド投資、Post-IPO除く)

*** Post-IPO除く

日本

米国

アジア

div

プログラミング
習得サービス



CLUE

産業用ドローン
ソフトウェア提供



ペイミー

給与即日支払
システム開発提供



Root Robotics

プログラミング学習
味`ット販売



C2Sense

超小型ガス検知
センサー開発



AnyMind
Group

(シンガポール)
AIを活用した
マーケティング
プラットフォーム



Instamojo

(インド)
個人事業者向
決済プラットフォーム



ボードウォーク

電子チケット
プラットフォーム

BOARDWALK

ブレイカー

デジタルコンテンツ
製作/配信



エル・ティー・エス

変革支援
コンサルティング



Analytical
Space

超小型衛星
ネットワーク開発



Waggle

オンラインハット
コミュニティ運営



Healthifyme

(インド)
健康管理アプリ



Active
Intelligence

(インド)
チャットボット
サービス



トライオン

英会話教室
運営



ジラフ

買取価格
比較サイト運営



● 他2社

Workast

チャット向け
タスク管理ツール



Layer

チャットメッセージ
SAAS



Baldor
Technologies

(インド)
個人認証
サービス



● 他3社

追加投資

株式会社エル・ティー・エス



設 立

2002年3月

代表者

樺島 弘明

上場日
(上場市場)

2017年12月14日 (東証マザーズ市場)

直近年度
業績

連結売上 24.0億円

当期純利益 1.1億円

出資比率*

16.5%

事業内容

ロボティクス・AI・ビジネスプロセスマネジメントを
活用した働き方改革促進支援

各地域別の投資戦略

注力領域

戦略

日本

次世代若手 × 有望起業家

起業家プール作り

- 自社メディア、勉強会

アジア

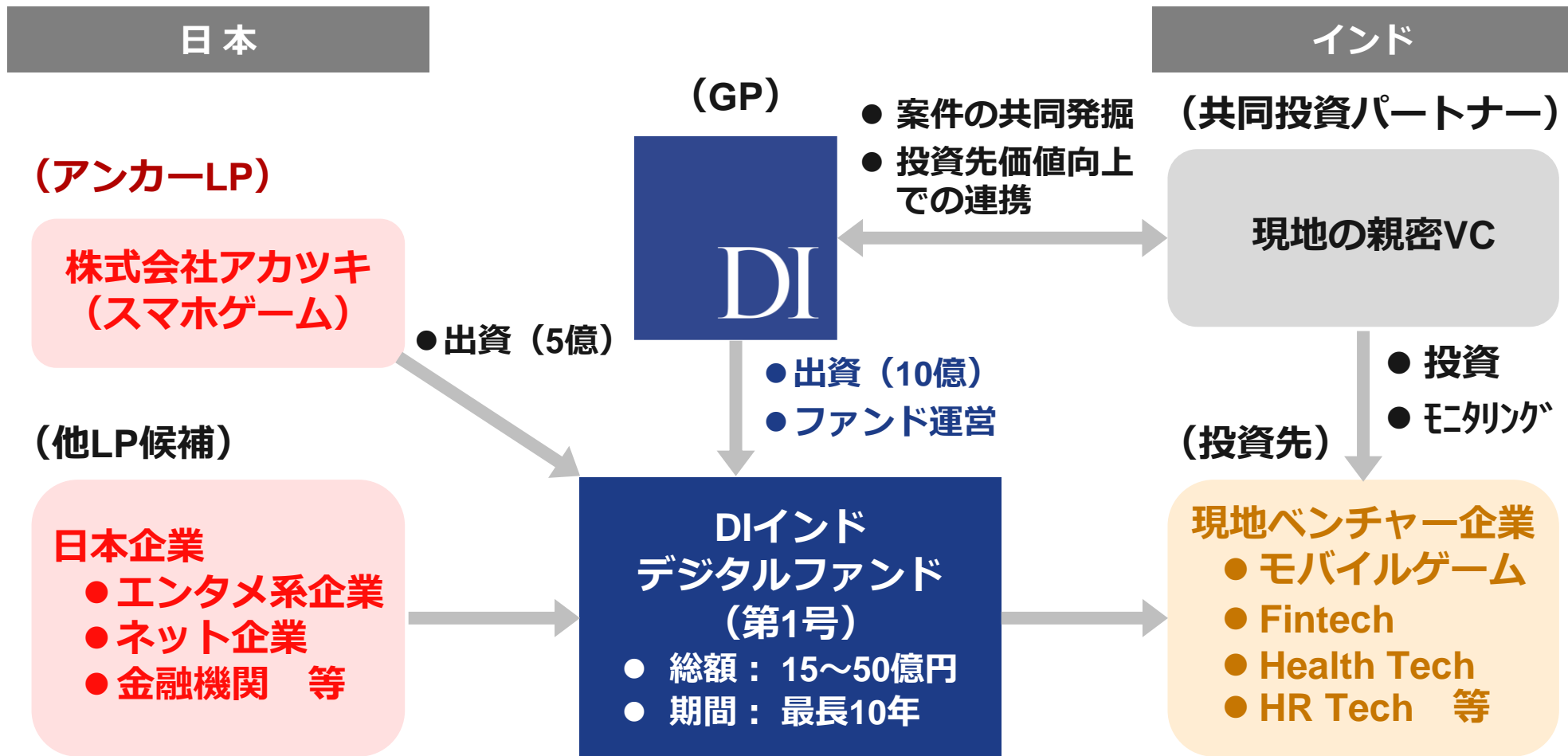
圧倒的マクロ成長分野
(特にBtoC)

米国

最先端ビジネス/技術分野

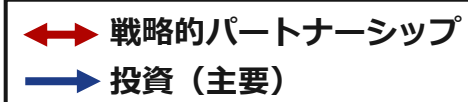
地場有力VC等との共同投資

DIインドデジタルファンドの設立



目指す姿：日印のデジタル・ビジネス創出プラットフォーム

三極展開：日・米・アジア



アジア：ネクストフロンティア

米国：イノベーションの震源地

インド

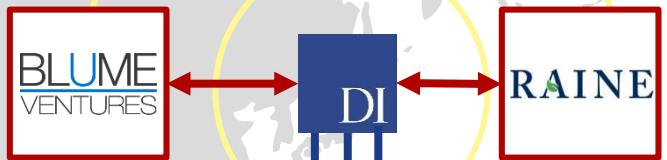
HealthifyMe UNOCOIN
99Games IDfy instamojo

東南アジア

ANYMIND GROUP
Le & Associates IN PEOPLE WE VALUE J+V

日本：世界に挑むホーム市場

ipet BOARDWALK CLUE Payme
whomor div Tryon Jiraffe
CRESCENDO ZMP



root SENSE analytical space
Waggle KONMARI plexchat
Layer Workast Righthand Robotics

Venture Navi

<http://venturenavi.dreamincubator.co.jp/>

インタビュー掲載

実績ある起業家のインタビュー記事を掲載し、SNS発信

● 主なインタビュー実績

上場 マイネット 上原社長
ユーザベース 新野取締役
オークファン 武永社長
マネーフォワード 辻CEO
アライドアーキテクツ 中村社長
面白法人カヤック 柳澤CEO

未上場 SHOWROOM 前田社長
ジラフ 麻生社長
AnyMind Group 十河CEO

イベント

起業家のためのクローズドな勉強会
「CEO Night」を開催

- 第1回ゲストは、オークファン
(マザーズ上場) 武永社長

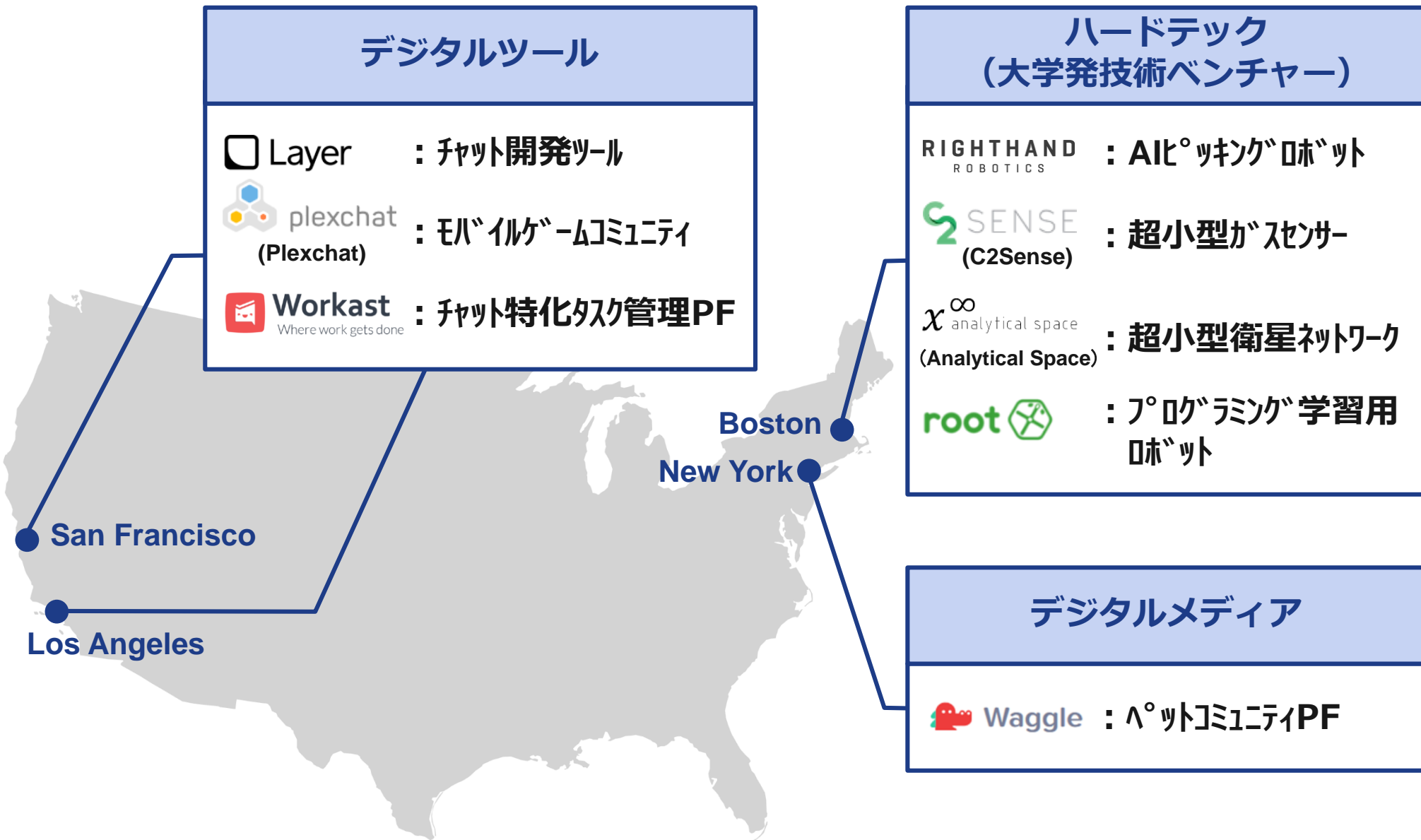


累積投資先10社



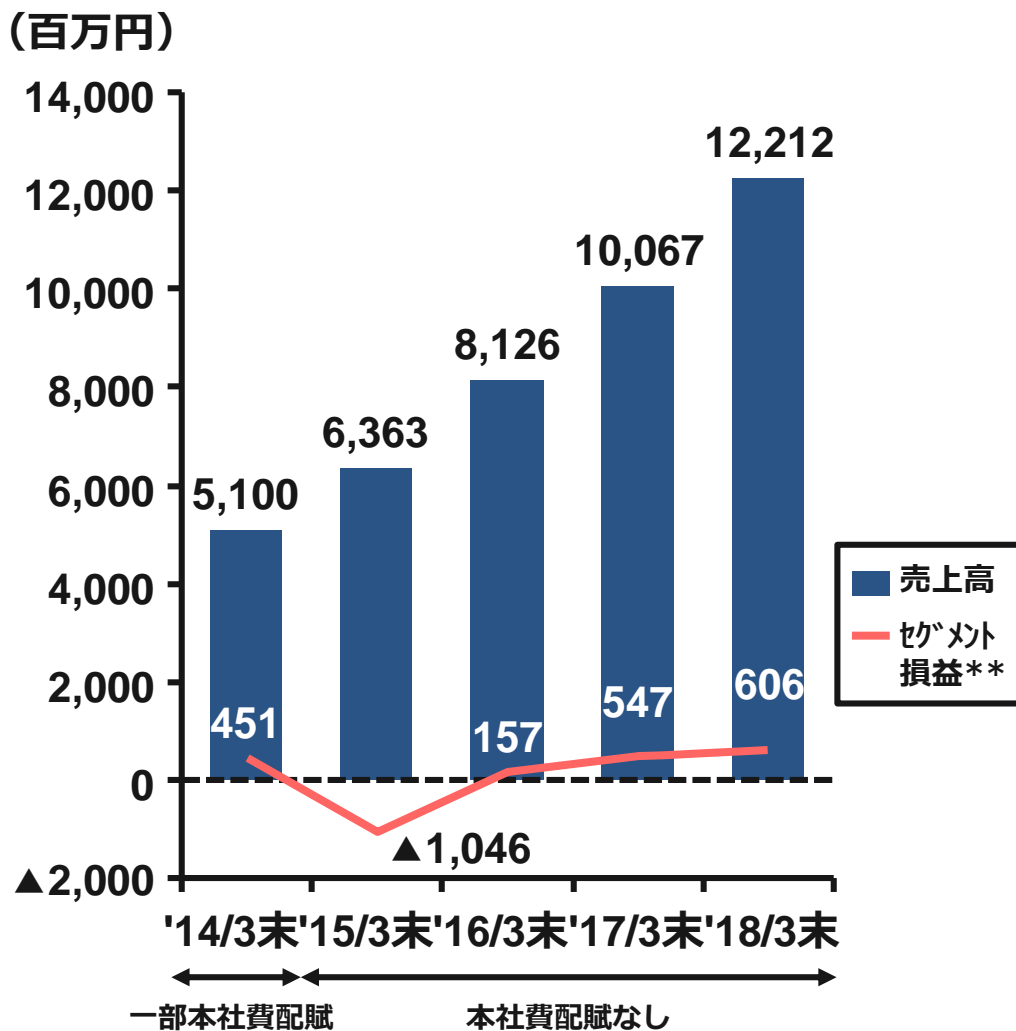
米国：最先端技術に投資し、ビジネスプロデュースに活用

参考



インキュベーション事業 (2) 保険セグメント (iPet)

業績推移



取組状況

堅調に成長

- 売上高：+21% (対前年比)
- セグメント損益：+126%

特別損失、税金費用が一時的に発生

- 基幹システム除却損 2.5億円*
- 繰延税金資産取り崩し 1.0億円*

4月25日に東証マザーズIPO



* 除却損：開発見直し、税金資産：欠損金期限切れ
** 直近2期は調整後保険セグメント損益

iPet : 2018年4月25日 東証マザーズIPO

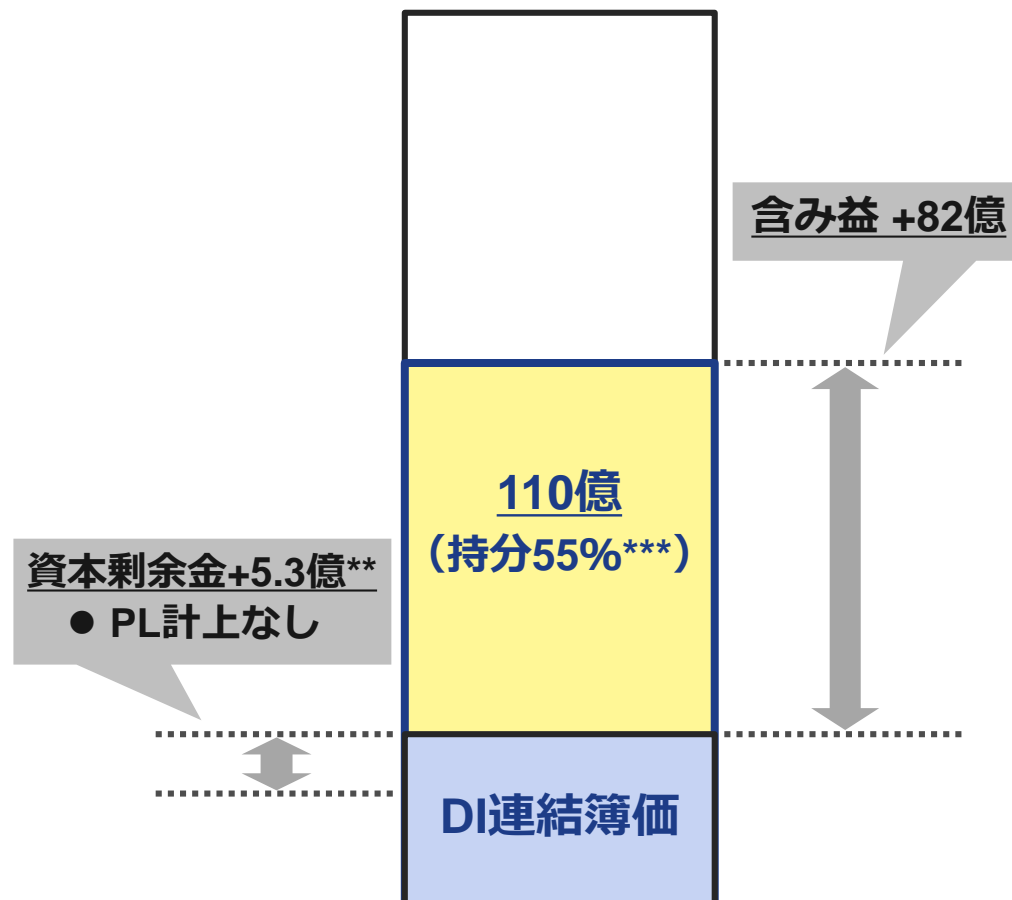
保有状況/保有方針

- DI持分 : 58.94% (顕在ベース)
- 時価総額 : 200億円 (株価3,890円*)
- DI保有方針 : 当面、継続保有・支援



財務会計インパクト及び含み益

時価総額 200億

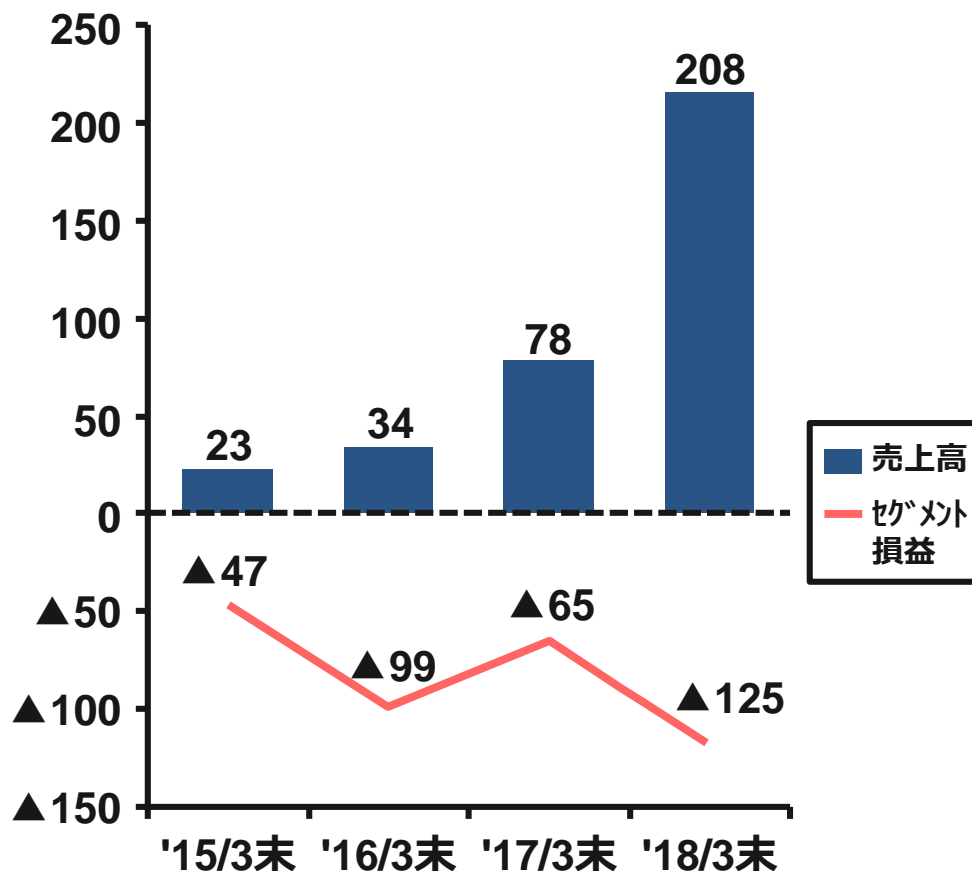


* 2018年4月末時点
** 公募増資に伴う持分変動に伴うもの。2019年3月期 第1四半期に計上
*** 潜在ベース

インキュベーション事業(3) デジタルマーケティング(DI Marketing)

業績推移

(百万円)



取組状況

日本営業本格化、受注は大幅増

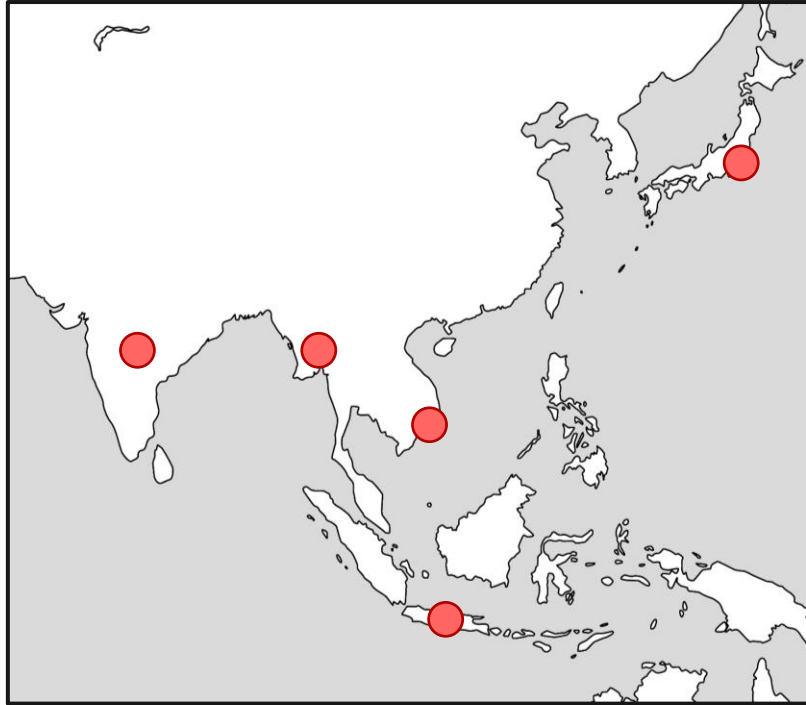
- 売上高：+166%（対前年比）
- 東南アジア3国でのパネル会員数も100万人を突破

成長に向けた投資を継続しつつ、通期黒字化も視野に入れる

DIベトナムと連携し、「アジアの知のプラットフォーム化」を目指す

- グループ体制を変更予定

DIベトナム + DIM = アジアの知のプラットフォーム



サービス

旧DIベトナム (DIV)

- 戦略コンサルティング

旧DI Marketing (DIM)

- 市場調査
- マーケットエントリー調査
- データベース販売

強み

- ① 100万人の消費者データベース
 - ベトナム、タイ、インドネシア
- ② 多様なサービスメニュー
 - 戦略立案からデータ販売まで
 - クライアントニーズに対応

今後の体制

DIベトナムとDI Marketingを統合

- 5拠点体制*
 - － 東京、ベトナム、タイ、インドネシア、インド (DI)

* グループ再編に伴い中国拠点は発展的に閉鎖

2018年3月期 期末配当金

	2017年3月期	2018年3月期
連結当期純利益	101百万円	899百万円
配当額 (1株当たり配当)	30百万円 (3円00銭)	262百万円 (26円00銭)
配当性向*	29.69%	29.16%

* 配当額÷連結当期純利益

プロフェショナルサービス事業*

- 継続成長
 - 中長期で約15% /年
 - デジタルマーケティングのマネタイズ化

インキュベーション事業

保険セグメント

- 継続成長

その他セグメント

- その他事業の仕込み

営業投資セグメント

- IPO/トレードセールで複数社の売却を見込む

<売上高>

2018.3 2019.3
156億円 ⇒ 180億円

<売上高合計>
180 + α 億円

27億円 ⇒ α 億円

* グループ再編に伴いDI Marketingはセグメントを移行予定

Dream Incubator Inc.